

令和2年4月12日
広島県新型コロナウイルス感染症対策専門家委員会
(新型コロナウイルス感染症専門員会議)

新型コロナウイルス感染症発生状況について

1. 広島県のここ数日の発生状況は、「感染期」に入り新規感染者数が急拡大している状況にある。
2. この状況は、4月1日の国の新型コロナウイルス感染症対策専門家会議「新型コロナウイルス感染症対策の状況分析・提言」による「感染拡大警戒地域」に該当しており、高齢者を中心としたクラスターが発生していることから、極めて危機的な状況にあると認識している。
3. このことから、不要不急の外出の自粛要請は当面継続すべきである。
さらに、若者や流行地域から帰ってきた人の行動変容につながるよう、具体的な対策を示すことが重要である。
4. 県全体としては「感染拡大警戒地域」に入ったと考えられるが、クラスターの発生は三次地域に限定され、リンクが追えることから、学校の休業については、地域や生活圏ごとの状況を踏まえて判断することが重要である。
なお、他の地域でも三次地域と同様に新規感染者数が急速に拡大することも予測されることから、十分警戒し、いつでも休業できるよう準備を進めておくべきである。